

# ようか臨床研修プログラム

(2027年度)

公立八鹿病院

## 目 次

1. 研修プログラムについて .....	1
2. 研修プログラムの特色 .....	1
3. 臨床研修の目標の概要 .....	2
4. 臨床研修の内容 .....	3
5. 臨床研修を行う施設 .....	5
6. 研修医の指導體制 .....	6
7. 全研修期間を通じて行う研修 .....	7
8. 研修医の評価 .....	8
9. 各分野の研修の詳細 .....	9
内科・一般外来、外科、救急科、地域医療、産婦人科、小児科、精神科、整形外科、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、緩和ケア科、眼科、脳神経内科、地域保健医療	
10. 協力型臨床研修病院における選択科目の研修 .....	31
11. 研修医の処遇 .....	32
12. 研修医の募集定員並びに募集及び採用の方法 .....	32

## 1. 研修プログラムについて

### 1) 基幹型臨床研修病院

公立八鹿病院 病床数：380床

住所：兵庫県養父市八鹿町八鹿1878番地1

管理者：西村 正樹

プログラム責任者：黒田 達実

### 2) 協力型臨床研修病院

- ① 公立豊岡病院
- ② 神戸大学医学部附属病院
- ③ 鳥取大学医学部附属病院
- ④ 兵庫医科大学病院

### 3) 臨床研修協力施設

- ① 公立村岡病院
- ② 養父市国民健康保険大屋診療所
- ③ 医療法人社団井上医院
- ④ 福井診療所
- ⑤ 医療法人社団俊仁会大植病院
- ⑥ 公立八鹿病院健康センター
- ⑦ 公立八鹿病院老人保健施設
- ⑧ 朝来健康福祉事務所

## 2. 研修プログラムの特色

基幹型臨床研修病院である公立八鹿病院は、救急医療、急性期医療に加え、リハビリテーション、慢性期医療、緩和ケア、予防医療等を提供する地域中核病院である。少子高齢化が先行した地域において、急性期から回復期・慢性期そして在宅まで継続した研修が可能であり、豊富で偏らない症例を経験ができることが特徴である。

1年次は内科・一般外来28週、外科8週、救急部門12週の研修を行う。2年次は地域医療4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週が必修で、残りの期間は選択科目の研修となる。

当院以外に協力型臨床研修病院、臨床研修協力施設で研修を行う場合がある。

### 3. 臨床研修の目標の概要

臨床研修の一般目標を示す。これに到達するための個別目標（行動目標）については、「9. 各分野の研修の詳細」で示す。

- 1) 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）を身に付ける。
  - ① 社会的使命と公衆衛生への寄与
  - ② 利他的な態度
  - ③ 人間性の尊重
  - ④ 自らを高める姿勢
  
- 2) 医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付ける。
  - ① 医学・医療における倫理性
  - ② 医学知識と問題対応能力
  - ③ 診療技能と患者ケア
  - ④ コミュニケーション能力
  - ⑤ チーム医療の実践
  - ⑥ 医療の質と安全の管理
  - ⑦ 社会における医療の実践
  - ⑧ 科学的探究
  - ⑨ 生涯にわたって共に学ぶ姿勢
  
- 3) 基本的診療技能を身に付ける。コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、以下の各領域において、単独で診療ができる。
  - ① 一般外来診療
  - ② 病棟診療
  - ③ 初期救急対応
  - ④ 地域医療

#### 4. 臨床研修の内容

臨床研修を行う分野並びに当該分野ごとの研修期間及び臨床研修病院又は臨床研修協力施設を示す。

##### 1) 研修を行う分野・研修期間・研修施設について

年次	分野	研修期間	研修施設
1	内科・一般外来	28週 ※一般外来研修（4週）含む	公立八鹿病院（内科・総合診療科）
	外科	8週	公立八鹿病院（外科）
	救急部門	12週	公立八鹿病院（救急科）
2	地域医療	4週	以下のいずれか ①公立村岡病院 ②養父市医療・介護施設群 ・公立八鹿病院 ・公立八鹿病院老人保健施設 ・養父市内の診療所 （養父市国民健康保険大屋診療所 医療法人社団井上医院 福井診療所）
	小児科	4週	以下のいずれか ①公立豊岡病院 推奨 ②神戸大学医学部附属病院 ③鳥取大学医学部附属病院 ④兵庫医科大学病院
	産婦人科	4週	以下のいずれか ①公立豊岡病院 推奨 ②神戸大学医学部附属病院 ③鳥取大学医学部附属病院 ④兵庫医科大学病院
	精神科	4週	以下のいずれか ①神戸大学医学部附属病院 推奨 ②鳥取大学医学部附属病院 ③兵庫医科大学病院
	選択科	残りの期間	以下のいずれか 1) 保健・医療行政 ①公立八鹿病院健康センター 推奨 ②公立八鹿病院老人保健施設 推奨 ③朝来健康福祉事務所 推奨

	選択科	残りの期間	2) その他 ①公立八鹿病院（全科） ②公立豊岡病院（全科） ③神戸大学医学部附属病院（全科） ④鳥取大学医学部附属病院（全科） ⑤兵庫医科大学病院（全科） ⑥医療法人社団俊仁会大植病院（精神科）
--	-----	-------	--

2) スケジュールの決定方法について

研修開始までに面談を実施し、スケジュールを決定する。

【スケジュールの一例】

1年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科・一般外来				外科		内科			救急部門		

2年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域	産婦	小児	精神	選択							

地域：地域医療　産婦：産婦人科　小児：小児科　精神：精神科

## 5. 臨床研修を行う施設

### 1) 基幹型臨床研修病院

公立八鹿病院

### 2) 協力型臨床研修病院

#### ①公立豊岡病院（全科）

- ・臨床研修を行う分野（期間）：小児科（4週）、産婦人科（4週）、選択（4～12週）
- ・研修実施責任者：義本 祐次（副院長/教育研修部長）

#### ②神戸大学医学部附属病院（全科）

- ・臨床研修を行う分野（期間）：小児科（4週）、産婦人科（4週）、精神科（4週）、選択（4～12週）
- ・研修実施責任者：坂口 一彦（総合臨床教育センター特命教授）

#### ③鳥取大学医学部附属病院（全科）

- ・臨床研修を行う分野（期間）：小児科（4週）、産婦人科（4週）、精神科（4週）、選択（4～12週）
- ・研修実施責任者：山田 七子（卒後臨床研修センター長）

#### ④兵庫医科大学病院（全科）

- ・臨床研修を行う分野（期間）：小児科（4週）、産婦人科（4週）、精神科（4週）、選択（4～12週）
- ・研修実施責任者：竹田 健太（卒後臨床研修センター長）

### 3) 臨床研修協力施設

#### ①公立村岡病院

- ・臨床研修を行う分野（期間）：地域医療（4週）
- ・研修実施責任者：石田 長次（院長）

#### ②養父市国民健康保険大屋診療所

- ・臨床研修を行う分野（期間）：地域医療（1週）
- ・研修実施責任者：加藤 健

#### ③医療法人社団井上医院

- ・臨床研修を行う分野（期間）：地域医療（1週）
- ・研修実施責任者：井上 正司

#### ④福井診療所

- ・臨床研修を行う分野（期間）：地域医療（1週）
- ・研修実施責任者：福井 寿徳

- ⑤医療法人社団俊仁会大植病院
  - ・臨床研修を行う分野（期間）：精神科（選択）（4～12週）
  - ・研修実施責任者：大川 慎吾（院長）
  
- ⑥公立八鹿病院健康センター
  - ・臨床研修を行う分野（期間）：保健・医療行政（1週）
  - ・研修実施責任者：岸本 弘之（センター長）
  
- ⑦公立八鹿病院老人保健施設
  - ・臨床研修を行う分野（期間）：保健・医療行政（1週）
  - ・研修実施責任者：富 勝治（施設長）
  
- ⑧朝来健康福祉事務所
  - ・臨床研修を行う分野（期間）：保健・医療行政（1～2日）
  - ・研修実施責任者：田所 昌也（所長）
  - ・地域医療の研修の中で研修を行うことを想定している。

## 6. 研修医の指導体制

臨床研修の各分野において、資格要件を満たした臨床研修指導医とその指導監督下にある上級医（臨床研修指導医以外で研修医よりも臨床経験の長い医師）が研修医の指導を担当し、プログラム責任者がこれを支援する。

夜間の当直（副直）における研修医の指導に関して、指導医または上級医が当直医として勤務して直接指導に当たり、随時相談に応じて必要があれば直ちに対応できる体制を確保する。特に1年次の研修医は、夜間の当直（副直）において指導医または上級医とともに診療を行う。

協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設での研修において、プログラム責任者が当該施設の研修実施責任者と連携し、当該施設における研修医の指導を支援する。

定期的及び必要に応じてプログラム責任者が研修医と面談を行い、研修に係る相談に応じる。

個々の研修医にメンターを配置し、利害関係のない状態で相談できる体制を確保する。

## 7. 全研修期間を通じて行う研修

### 1) 感染対策（院内感染や性感染症等）

内科の研修期間に、県の指定を受けた結核病床において、入院勧告を受けた結核の患者の入院診療を経験する。

内科・救急部門の研修期間に、院内感染対策チームに所属して研修を行う。  
保健所において結核や性感染症への対応を経験する。

### 2) 予防医療（予防接種等）

小児科・地域医療の研修期間に予防接種を経験する。

公立八鹿病院健康センターで、人間ドック事業における診察と保健指導を経験する。

### 3) 虐待への対応

虐待に関する研修を受講するか、小児科の研修期間に講義を受ける。

### 4) 社会復帰支援、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）

内科の研修期間に以下の症例を担当し、多職種での対応を経験する。

- ・急性期の治療が落ち着いて、退院に調整・支援を要する症例
- ・療養の方針が定まっていなくて、意思決定に関して支援を要する症例

2年間の研修期間中にアドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する講習会等を受講する。

### 5) 緩和ケア

内科・外科の研修期間を最低限必要とされる期間よりも4週多く設定しており、緩和ケア科での研修を包括できるようにしている。

選択科目として緩和ケア科で研修を行うことも可能である。

2年間の研修期間中に緩和ケア研修会を受講する。

### 6) 臨床病理検討会（CPC）

病理解剖に立ち会い、臨床及び病理の指導医から指導を受ける。

臨床病理検討会（CPC）で発表を行い、議論に参加する。

### 7) 全研修期間を通じて研修医が参加するカンファレンス等

- |              |       |           |
|--------------|-------|-----------|
| ①内科入院症例検討会   | 月～金曜日 | 8:10～     |
| ②整形外科抄読会     | 木曜日   | 8:00～8:30 |
| ③外科合同カンファレンス | 木曜日   | 16:30～    |
| ④放射線治療検討会    | 金曜日   | 16:30～    |
| ⑤脳卒中カンファレンス  | 隔週金曜日 | 16:30～    |

## 8. 研修医の評価

研修医の到達目標の達成度を以下のように評価する。

### 1) 研修期間中の評価（形成的評価）

各分野・診療科のローテーション終了時に、医師及び医師以外の医療職（看護師を必ず含む）が「研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を用いて評価する。

- ・研修医評価票Ⅰ：「医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価

- ・研修医評価票Ⅱ：「資質・能力」に関する評価

- ・研修医評価票Ⅲ：「基本的診療業務」に関する評価

少なくとも年2回、適切な時期にプログラム責任者が研修医に対して形成的評価（フィードバック）を行う。

### 2) 研修期間終了時の評価（総括的評価）

「臨床研修の目標の達成度判定票」を用いて、到達目標の達成状況について評価する。

## 9. 各分野の研修の詳細

### 【 内科・一般外来 】

#### 研修の特徴と内容

臓器別ではない内科全般の研修であり、プライマリ・ケアを中心とした研修を行う。  
外来（内科・総合診療科）、急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟における継続した診療を経験する。

一般外来の研修を内科と並行研修で行う。

※1日/週で一般外来の研修を行う。

#### 研修の目標

- 1) 内科とその周辺領域の健康問題に対する包括的・継続的な問題解決ができる。
- 2) 頻繁に関わる症候や疾患に対応でき、基本的な検査・治療手技を行える。
- 3) 一般外来において単独で診療ができる。

#### 研修医の内容

病棟診療 担当患者数5～10名

外来研修 総合診療科外来における紹介状を持たない内科初診患者の診察  
: 0.5日/週

内科外来における一般内科の定期通院患者の診察 : 0.5日/週

#### 教育に関する行事

月～金 8:10～ 内科入院症例検討会

#### 指導医・上級医

内科主任部長 黒田 達実

内科部長 高内 善・倉堀 純・関本 康弘

内科医長 藤村 忠宏・草壁 明日香・守本 陽一

内科 志水 和麻・作永 瑞希・柏木 奈実・柏木 祐希・

園田 幸恵・細道 優也・塚本 進之介

総合診療科部長 田村 邦彦

#### 指導責任者

内科主任部長 黒田 達実

## 【 外科 】

### 研修の特徴と内容

当科では消化器悪性疾患を中心に、胆石症、急性虫垂炎など良性消化器疾患や鼠径ヘルニアなど一般外科的な疾患に対して手術などの治療を行っています。

外科研修に来られた先生方には、まず基本的事項として、社会人の基本姿勢、医師としての基本姿勢を学んでいただきます。更に当科では癌などの悪性疾患を取り扱うことも多いため、一般目標として患者への対応の仕方、守秘義務等についても学んでいただきたいと思います。

行動目標としては積極的に手術や外来処置に参加してもらい、さらに外科的診断法、手技・処置法を修得してもらいたいと思います。また、内科系志望の医師にとっては今後外科的処置を学ぶ機会は少なくなるため、この研修にて医師にとって必要不可欠な清潔概念、簡単な縫合・結紮処置等をぜひ身につけていただきたいと思います。

最後に、当科には若い医師も多く、共に行動することで、研修プログラムだけではわからない外科医の実際の仕事内容が見えてきます。自分の手技で傷を治してあげられる充実感、手術を通じて怪我や病気から命を救ってあげられたときに達成感なども若手医師がいることで共感できるかもしれません。外科医もいいなと思える研修を提供したいと考えています。

### 教育に関する行事

月曜日	病棟回診処置、手術
火曜日	病棟回診処置、手術
水曜日	病棟回診処置、手術
木曜日	病棟回診処置、手術、手術症例カンファレンス
金曜日	病棟回診処置
随 時	上部および下部内視鏡検査、上部・下部消化管透視検査 腹部超音波検査、ドライラボによる縫合・結紮訓練習

### 指導医・上級医

副院長・外科部長	西田 勝浩
外科医長	西尾 公佑・藤澤 亮裕
外科	長友 雄希

### 指導責任者

副院長・外科部長	西田 勝浩
----------	-------

## 【 救急科】

### 研修の特徴と内容

公立八鹿病院の救急科はE R型で運用されており、平日時間内は救急担当の医師1～2名が各診療科と協力して診療を行っている。時間外・休日は全診療科の医師と外部からの応援医師が内科系1名、外科系1名の2名体制で診療を行っている。研修医は指導医・上級医の指導のもとで診療・研修を行っている。

### 研修の目標

- 1) 内因性疾患や外傷の患者の初期診療を適切に行うことができる。
- 2) 指導医・上級医や各診療科の医師へのコンサルテーションを適切に行うことができる。

### 指導医・上級医

救急科部長	黒田 達実
救急科	菱川 恭子（非常勤）・倉橋 卓男（応援医師）
整形外科	梨木 真美子・忽那 結希
外科	長友 雄希

### 指導責任者

救急科部長	黒田 達実
-------	-------

## 【 地域医療 】

### 公立村岡病院

#### 村岡病院で学ぶこと

独居老人、高齢夫婦世帯の多いこの地域で、高齢者の希望である在宅生活を送るのに何が必要かを知り、それを援助する。

#### 1) 老人医療

目標：高齢化率約40%の地域で老人医療を実体験する。

- ① 老人の定義
- ② 老人医療の本質
- ③ 老人のかかりつけ病院
- ④ 精神的ケアの重要性

#### 2) ターミナルケア

目標：老人医療はゆっくりとしたターミナルケアであることを知り、実践する。

- ① 身体的ケア
- ② 精神的ケア
- ③ スピリチュアルケア
- ④ 家族のケア

#### 3) 在宅医療

目標：老人医療の主目的は在宅医療であることを知り、実施する。

- ① 入院した時点から退院計画が始まる
- ② 在宅でのコミュニケーション
- ③ 真の“患者が主役”
- ④ 在宅での栄養管理
- ⑤ 在宅ターミナルケア
- ⑥ 病院だからできる在宅24時間体制

#### 4) 介護との連携

目標：老人医療は介護職と連携して初めて成たつことを知り、関係者と効率的なコミュニケーション方法を学ぶ。

- ① 退院計画会議
- ② 在宅ケア会議

#### 指導医・上級医

院長 石田 長次

#### 研修実施責任者

院長 石田 長次

## 【 地域医療 】

### 養父市医療・介護施設群

#### 構成する施設

- 1) 公立八鹿病院  
※200床以上の病院であるが、病院が立地する養父市全域が、過疎地域自立促進特別措置法第2条第1項に規定する地域に該当し、「へき地」に該当する。
- 2) 公立八鹿病院老人保健施設
- 3) 養父市内の診療所（養父市国民健康保険大屋診療所、井上医院、福井診療所）

#### 研修プログラムの特色・概要

公立八鹿病院は地域の診療所と連携し、在宅療養の患者に起こる急性の病態に救急・入院診療機能で対応している。

公立八鹿病院には回復期リハビリ病棟や地域包括ケア病棟があり、急性期の治療を終えた患者が在宅で療養したり適切な施設に入所したりするまでのケアを提供している。

公立八鹿病院に併設された老人保健施設は、在宅療養者とその家族を支援している。

研修医が地域住民に対する医療・介護を包括的に経験できるように養父市内の診療所、病院、老人保健施設が協力している。

#### 研修の目標

- 1) 地域における医療・介護制度の概要について説明できる。
- 2) 地域における診療所の役割や病院との役割分担について説明できる。
- 3) 診療所・病院（総合診療科）において外来診療を行える。
- 4) 訪問診療や往診を行い、在宅で必要な処置を行える。
- 5) 高次医療機関との連携（紹介・逆紹介）を行える。
- 6) 医療・介護に関係する他の職種と連携できる。
- 7) 地域社会に関心を持ち、地域住民と積極的に関わることができる。

#### 研修の内容

- 1) 公立八鹿病院  
救急・入院診療、回復期リハビリ病棟や地域包括ケア病棟での診療を経験する。
- 2) 公立八鹿病院老人保健施設  
在宅療養者の入所・短期入所、通所リハビリテーションを経験する。
- 3) 養父市内の診療所（養父市国民健康保険大屋診療所、井上医院、福井診療所）  
一般外来と在宅医療を経験する。

## 研修の評価

診療の場面における評価

指導医との振り返りにおける経験及び知識獲得の評価

## 各施設の指導医・指導責任者

公立八鹿病院 黒田 達実

公立八鹿病院老人保健施設 富 勝治

養父市国民健康保険大屋診療所 加藤 健

井上医院 井上 正司

福井診療所 福井 寿徳

## 当該地域医療研修全体の実施・指導責任者

公立八鹿病院 黒田 達実

## 【 産婦人科 】

公立豊岡病院

神戸大学医学部附属病院

鳥取大学医学部附属病院

兵庫医科大学病院

### 研修プログラムの特色・概要・目標等

当該協力型臨床研修病院の産婦人科の研修プログラムに従う。

### 各施設の指導責任者

公立豊岡病院	産婦人科部長	松原 慕慶
神戸大学医学部附属病院	産婦人科教授	寺井 義人
鳥取大学医学部附属病院	産婦人科教授	谷口 文紀
兵庫医科大学病院	産科婦人科講師	脇本 裕

### 公立八鹿病院産婦人科（選択）

#### 研修の目標

地域における産婦人科医療について説明できる

#### 研修の内容

外来診療を見学する。

月～金 松本知

#### 指導医・上級医

産婦人科 松本 知子

#### 指導責任者

救急科部長 黒田 達実

## 【 小児科 】

公立豊岡病院

神戸大学医学部附属病院

鳥取大学医学部附属病院

兵庫医科大学病院

### 研修プログラムの特色・概要・目標等

当該協力型臨床研修病院の小児科の研修プログラムに従う。

### 各施設の指導責任者

公立豊岡病院	小児科医長	山田 博之
神戸大学医学部附属病院	小児科教授	西村 範行
鳥取大学医学部附属病院	小児科教授	難波 範行
兵庫医科大学病院	小児科臨床准教授	李 知子

### 公立八鹿病院小児科（選択）

#### 研修の特徴と内容

小児科専門医の少ない但馬地域で、本院は小児に関する外来診療全般を行っている。

感染症の診療はもちろんのこと、行政が関与する定期予防接種、定期乳幼児健診、学校健診などの事業に協力し、健診で異常指摘される症状、例えば低身長、肥満、思春期早発や知的運動発達遅滞、さらには不登校やそれにともなう身体症状の診療を、教育機関などと協力しながら行っている。地域医療を志す医師にとっては必須と考えられる、年齢によってダイナミックに変化する小児に特有の診療や関連業務を実体験研修することができる。

#### 指導医・上級医

小児科部長 井代 学

#### 指導責任者

小児科部長 井代 学

## 【 精神科 】

神戸大学医学部附属病院

鳥取大学医学部附属病院

兵庫医科大学病院

### 研修プログラムの特色・概要・目標等

当該協力型臨床研修病院の精神科の研修プログラムに従う。

### 各施設の指導責任者

神戸大学医学部附属病院 精神科神経科教授 菱本 明豊

鳥取大学医学部附属病院 精神科教授 岩田 正明

兵庫医科大学病院 精神科神経科講師 清野 仁美

### 大植病院精神科（選択）

#### 大植病院精神科の紹介

精神科外来患者数：平均約 480 人/月

精神科病棟：250 床

精神保健福祉法指定医療機関である。

#### プログラムの目的と特徴

将来の専門性にかかわらず、日常診療で遭遇する精神疾患、特に認知症疾患を代表とする老年期精神疾患に対して適切に対応できるよう、以下の修得を目指した研修を行う。

- 1) 適切な医師患者関係の持ち方、患者を病める存在として全人的理解
- 2) 精神症状の的確な評価
- 3) 簡易な心理療法の修得
- 4) 正しい向精神薬使用の修得

#### 経験目標

様々な病型の認知症疾患を経験し、診断、検査、治療方針について理解する。他の疾患・病態についても、外来または入院患者で自ら経験する。

- 1) 認知症
- 2) 妄想性障害
- 3) 気分障害
- 4) 不安・抑うつ障害
- 5) せん妄
- 6) 不眠症

## 指導体制

指導医が研修医指導に当たる。病院長が研修全体を総括する。

## 研修に関する行事

- 1) クルズス：精神療法、老年精神医学、精神保健福祉法、精神障害各論、薬物療法、精神科における身体管理、カルテ記載等について研修医向けクルズスが行われる。
- 2) 病棟スケジュール：入院患者の担当医となり、認知症疾患を代表とする老年期精神疾患について学ぶ。週間スケジュールとして、チャート・ラウンドが行われ、研修医が担当患者の1週間の経過をプレゼンテーションし、指導医がコメントする。新患紹介もこの中で行われる。研修には、医師だけでなく、看護師、精神保健福祉士、公認心理士等もかかわる。最終的に研修医は研修で担当した症例をまとめ詳細に発表する。
- 3) 外来スケジュール：週2回、外来で新患の予診をとり、指導医の本診に同席する。また、緊急診察があった場合は同席し症例を経験する。  
月曜日から土曜日の午前中は一般精神科診療外来、木曜日の午後は認知症専門外来(メモリー外来)が行われている。

## 指導医・上級医

病院長 大川 慎吾  
理事長 松田 年司  
精神科 清水 光太郎・俵 嘉壽子・中村 洪一  
内科 松田 玲子

## 研修実施責任者

病院長 大川 慎吾

## 【 整形外科 】

### 研修の特徴と内容

整形外科的疾患の外傷、慢性疾患のおおまかな全体像を把握してもらうことを目標とします。

午前中は、外来診療に立ち会ってもらって、診療の進め方を掴んでもらい、ある程度慣れたら、外来初診患者さんの問診、理学的所見をとってもらいます。

午後は、手術に入ってもらい、力量に応じて参加してもらいます。

時間外の整形外科的疾患の対応では、スタッフの指導のもと、最前線で活躍してもらいます。

上記研修内容を習得するためには2ヶ月以上必要ですので、研修は可能であれば2ヶ月以上でお願いします。

### 研修の目標

- 1) 慢性疾患の診断、治療の進め方を理解、実践する。
- 2) 脱臼、骨折など外傷の初期治療の基礎を身につける。

### 教育に関する行事

月水金	8:00～8:30	病棟処置
月～金	8:30～13:00	外来診療
月～金	13:00～17:00	手術
火曜日	13:00～14:30	病棟回診（回復期リハ棟含む）
火曜日	午後	入院患者カンファレンス
木曜日	8:00～8:30	抄読会
	17:00～17:30	術前、術後カンファレンス

### 指導医・上級医

院長補佐・整形外科部長	元津 康彦
整形外科	梨木 真美子・忽那 結希

### 指導責任者

院長補佐・整形外科部長	元津 康彦
-------------	-------

## 【 麻酔科 】

### 研修の特徴と内容

一般的な手術麻酔全般の基礎知識、および技術を習得する。

当院は典型的な少子高齢化地域にあり高齢者の麻酔が大部分を占める。

呼吸、循環さらには中枢神経疾患を含めたハイリスク症例が大多数となり、いかに予備力の少ない症例の麻酔を安全におこなうかが重要なポイントとなる。

当然マニュアル通りの管理は困難であり個々の症例毎に応じた綿密な麻酔計画と技術が必要になってくる。

### 研修の実際

#### 1) 初期研修

全身管理に必要な臨床的技術と知識を習得することを目的とし、個々の症例に応じた麻酔計画の作成・術中管理・術後回診を指導医とともに行う。

麻酔技術の習得目標：全身麻酔法、各種局所麻酔法、人工呼吸法、気管挿管、静脈確保、内頸静脈穿刺、動脈穿刺、腰椎穿刺など。

#### 2) 選択研修

将来、麻酔科標榜を希望する医師のために麻酔医として必要な臨床的技術と知識を習得する。初期研修の項目を各自がしっかりと習得することを目的とする。

さらに硬膜外麻酔を含む専門技術の習得を行う。希望すれば緩和ケアの研修を行うことが出来る。

### 教育に関する行事

月～金	8:30～	術前・術後症例検討会
月～金	9:00～	手術室における麻酔および術後回診
月曜日	午前	麻酔科管理症例術前診察

### 指導医・上級医

副院長・麻酔科部長	林 行雄
組合顧問	富 勝治
麻酔科	延藤 遥

### 指導責任者

副院長・麻酔科部長	林 行雄
-----------	------

## 【 皮膚科 】

### 研修の特徴

皮膚疾患は患者数も多く、本人や家族の目に見えるため、地域の診療所でも多くの症例を診療する必要がある。また、診断に当たっては問診と皮疹の観察が重要である。治療では皮膚外用剤が主体であるため、治療効果は外用剤の適切な選択と外用方法の指導に依存するところが多い。

### 研修の目標

#### 1) 外来診療において

- ①多くの症例を自らの目で経験して診断力を養う。
- ②皮膚感染症の適切な検体採取と真菌顕微鏡検査による診断。
- ③爪を含む外傷と軽度の熱傷の処置法の習得。
- ④外用剤の作用および強さと副作用について理解し、適切な外用剤の選択と外用指導の基本を習得する。

#### 2) 院内の入院患者の褥瘡を診療して褥瘡の予防と治療法の基本を習得する。

### 研修期間

1ヶ月の研修を基本とするが、他診療科研修中に週1回の外来研修も可能である。

### 指導医・上級医

皮膚科部長 小出 隆（非常勤）

### 指導責任者

救急科部長 黒田 達実

## 【 泌尿器科 】

### 研修の特徴と内容

泌尿器科疾患の専門的診療のみならず、広く臨床の基礎に関する知識を習得できるようにカリキュラムを組んでいる。研修内容は以下の通りである。

- 1) 疾患の理解：泌尿生殖器の先天異常、腫瘍、炎症、機能障害、尿路結石について臨床例を経験することにより、診断から治療への流れを理解する。
- 2) 臨床の基本：患者に対する接遇の心得、他科との連携の取り方、基本的な検査、処置の手技を習得する。
- 3) 救急処置：主に泌尿器科領域の救急処置の適応、方法を習得する。
- 4) 学会活動：泌尿器科関連の主要学会に参加する。

### 教育に関する行事

月～金 午前 外来診療

### 指導医・上級医

泌尿器科部長 濟 昭道（非常勤）

### 指導責任者

救急科部長 黒田 達実

## 【耳鼻咽喉科】

### 研修の特徴と内容

当科では将来耳鼻咽喉科を標榜する医師のための基礎的な研修を行う。

一般臨床医としての基本的知識、技術を習得し、耳鼻咽喉科専門医としての知識や技術を習得する。耳鼻咽喉科・頭頸部の解剖・機能・病態を理解し知識を習得する。耳鼻咽喉科の検査の意義と原理、方法を理解し、適切に実施、結果の判定ができる。耳鼻咽喉科、頭頸部外科の基本的な手技を習得するとともに、簡単な手術は自ら行い、より高度な手術で助手を務めることができる。臨床・基礎研究に興味を持ち、研究発表を行う。

研修期間の耳鼻咽喉科研修は最低3ヶ月間を当科で行う。研修期間中はまず基礎研修後、一般外来診察あるいは午後の予約検査外来で、聴力検査、平衡機能検査、顔面神経検査、鼻副鼻腔検査、咽喉頭内視鏡検査を学ぶ。また病棟で指導医のもと受持医として入院患者を持ち、診察の方法、検査、薬物治療法、手術療法・手技を学ぶ。

### 教育に関する行事

	午前	午後
月	8:30～ 初再診	外来手術 15:00～ 嚥下外来
火	8:30～ 初再診	手術
水	8:30～ 初再診	検査 内視鏡・超音波下生検
木	8:30～ 初再診	ICTラウンド
金	8:30～ 初再診	検査 聴覚・平衡機能

### 指導医・上級医

耳鼻咽喉科部長 谷本 俊次

### 指導責任者

耳鼻咽喉科部長 谷本 俊次

## 【 放射線科 】

### 研修の特徴と内容

放射線科は大きく分けると放射線診断(IVRを含む)、放射線治療に分かれます。これらに対して放射線学会専門医、IVR指導医、核医学会認定医が指導にあたります。

### 放射線診断

- 1) CT、MRI、RIを中心とした各種画像読影の習得
- 2) 腹部、頸部等の超音波検査の習得
- 3) 血管造影の基本的な手技の習得
- 4) IVRの基本的な手技の習得

肝細胞癌に対するTAE、閉塞性動脈疾患(PAD)に対するstent留置、超音波、CTガイド下intervention

- 5) IVR術前、術後の管理の習得

### 放射線治療

- 1) 放射線生物学、物理、画像診断をふまえた放射線治療の基礎の習得
- 2) IVR、化学療法と放射線治療併用療法の習得

### 教育に関する行事

- |     |          |
|-----|----------|
| 火曜日 | 画像検討会    |
| 水曜日 | 抄読会      |
| 金曜日 | 放射線治療検討会 |
| 年1回 | 但馬画像研究会  |

### 指導医・上級医

- |             |      |
|-------------|------|
| 病院顧問・放射線科部長 | 小山 司 |
| 放射線科        | 田原 葵 |

### 指導責任者

- |             |      |
|-------------|------|
| 病院顧問・放射線科部長 | 小山 司 |
|-------------|------|

## 【 緩和ケア科 】

### 研修の特徴と内容

世界保健機関（WHO）は、緩和ケアを「生命を脅かす疾患に伴う問題に直面している患者と家族に対し、その身体的、心理社会的、スピリチュアルな問題を早期から正確にアセスメントし解決することによって、苦痛の予防と軽減を図り、生活の質（QOL）を向上させるためのアプローチである」と定義しています。

当院では、患者さん・ご家族の“全人的苦痛（トータルペイン）”を早期から正しく評価し、原因に応じた治療とケアを行って、QOLの改善・維持を目指しています。

### 研修の目標

- 1) がん性疼痛の評価と治療（オピオイドの使い方）
- 2) 各種症状の評価と治療
  - ① 呼吸困難
  - ② 消化器症状（嘔気・嘔吐）
  - ③ 気持ちのつらさ（うつ）
  - ④ せん妄
  - ⑤ 全身倦怠感 など
- 3) コミュニケーション技術の修得
- 4) 療養の場所の選択、地域連携
- 5) 治療、ケアのゴールを話し合うアドバンス・ケア・プランニング
- 6) がん悪液質と栄養・輸液療法
- 7) 苦痛緩和のための鎮静について

### 教育に関する行事

毎 日	14:00～	緩和ケア外来（面談等）
水曜日	13:00～	カンファレンス
金曜日	11:00～	緩和ケア病棟回診
随 時		緩和ケア外来（通院）
随 時		病棟行事（誕生日会、お花見会、七夕会、月見会、クリスマス会、ひな祭り会 など）
11月頃		ひだまりの会（遺族会）
12月頃		緩和ケア研修会（医療者を対象として）

### 指導責任者・指導医

緩和ケア科部長 岸本 弘之

## 【 眼科 】

### 研修の特徴と内容

外来において必要な知識・技術を習得し、患者への適切な接し方を学ぶ。

指導医の下で屈折矯正検査、調節検査、精密眼圧検査、細隙灯顕微鏡検査、精密眼底検査等の種々の検査法を習得する。

### 指導医・上級医

眼科 後藤 拓磨（非常勤）

### 指導責任者

救急科部長 黒田 達実

## 【 脳神経内科 】

### 研修の特徴と内容

午前の外来の研修ではさまざまな神経疾患を経験する。

午後の病棟の研修では神経難病の主として慢性期の医療を経験する。

### 指導医・上級医

院長                      西村 正樹

### 指導責任者

救急科部長              黒田 達実

## 【 地域保健医療 】

### 公立八鹿病院 健康センター

#### 研修の特徴と内容

健康な人への予防医療について研修する。

人間ドック受診者において肥満関連疾患を中心として生活習慣病が急増しているが、ストレス、単身赴任、遠距離通勤、長時間勤務などが生活習慣改善の行動変容を困難にしている。

症状のない人への健康教育技術はプライマリ・ケア医の重要な技術であるが、何らかの不調があつて医療機関を受診する患者の診療の経験だけでは習得が困難である。

人間ドック事業を経験し、健診における診断・指導を経験する。

#### 研修の内容

診察と保健指導

糖尿病予防教室への参加

#### 指導医・上級医

健康センター長 岸本 弘之

#### 研修実施責任者

健康センター長 岸本 弘之

## 【 地域保健医療 】

### 公立八鹿病院 老人保健施設

#### 研修の特徴と内容

当老健施設は主たる目的を在宅支援に置いている。

年間の入退所者数は1,000名を超え、その半数は短期入所の利用である。長期入所者は3か月以内に退所することが多く、退所先の約90%は自宅となっている。

老人保健施設の役割は、多職種（＝支援相談員のマネジメントに始まり、リハビリ・介護・看護職員の協働と医師の医学管理）の下で居宅生活を目標とした支援である。当施設での研修を通してこれに触れ、高齢者を取りまく社会的な状況を理解し、介護保険制度における老人保健施設の役割、その他の介護保険サービス事業所の役割について学ぶ。

また、高齢者の全身管理を行い、起こりやすい合併症への対応、認知症高齢者への対応方法を習得する。

#### 教育に関する行事

火曜日午前 入所判定会議

#### 指導医・上級医

施設長 富 勝治  
垣 隆之（非常勤）

#### 研修実施責任者

施設長 富 勝治

**【 地域保健医療 】**  
**朝来健康福祉事務所**

**研修の特徴と内容**

保健所の業務を見学し、その役割（地域保健・健康増進への理解を含む）を理解する。

**指導医・上級医**

朝来健康福祉事務所長 田所 昌也

**研修実施責任者**

朝来健康福祉事務所長 田所 昌也

## 10. 協力型臨床研修病院における選択科目の研修

2年次の必修科目及び選択科目の研修を協力型臨床研修病院、臨床研修協力施設で行うことがある。研修が可能な協力型臨床研修病院と診療科は以下のとおりである。

協力型臨床研修病院での選択科目の研修の期間を原則として合計16週（必修科目を含まない）とする。

研修先や研修期間については、1年次の10月から翌年3月までにプログラム責任者が研修医と相談して決定するが、協力型臨床研修病院の状況により研修できる診療科や研修の時期・期間について研修医の希望に沿えない場合がある。

### 1) 選択科目の研修が可能な協力型臨床研修病院と診療科

#### ① 公立豊岡病院

受け入れ可能な診療科：全診療科

#### ② 神戸大学医学部附属病院

受け入れ可能な診療科：全診療科

#### ③ 鳥取大学医学部附属病院

※県外であるが、以前から医師の派遣・交流があり、関係が深い。

受け入れ可能な診療科：全診療科（1名）

#### ④ 兵庫医科大学病院

受け入れ可能な診療科：全診療科

#### ⑤ 医療法人社団俊仁会大植病院

受け入れ可能な診療科：精神科

### 2) 研修の内容

当該協力型臨床研修病院の当該科の研修プログラムに従う。

### 3) 身分等について

出張の扱いとし、旅費と住居にかかる費用の一部を支給する。

## 1 1 . 研修医の処遇

身分は常勤の臨時職員であり、勤務日は週5日、土曜日・日曜日・祝日は休みである。勤務時間は午前8時30分～17時で、45分の休憩時間がある。労働基準法に基づく年次有給休暇の取得が可能であり、別に所定の夏期休暇が付与される。

労働時間の管理は、院内の複数個所に設置されたパソコンに本人が出勤・退勤の登録をすることで行われる。

当直（副直）は月2～4回で、平日の17時～22時である。これにより10時間程度の勤務間インターバルが確保される。当直（副直）及び時間外勤務に対して手当が支給される。

時間外労働について、プログラム責任者が1回／月定期的にチェックして管理し、長時間（45時間／月以上）であれば指導及び業務の調整等を行う。

医師住宅（単身用2DK、世帯用3DK）に入居が可能である。

社会保険・労働保険については以下のとおりである。

- ・ 公的医療保険：兵庫県市町村共済組合
- ・ 公的年金保険：厚生年金保険
- ・ 労働者災害補償保険法の適応：有
- ・ 雇用保険の適応：有

労働安全衛生法に基づく健康診断（1回／年）の受診は必須であり、プログラム責任者が研修医の健康管理を担当する。

医師賠償責任保険については病院において加入するが、個人での加入は任意である。

外部の研修活動（学会、研究会等への参加）は可能であり、規程に基づく旅費・参加費用の支給がある。

## 1 2 . 研修医の募集定員並びに募集及び採用の方法

募 集 定 員： 名

募 集 方 法：-

募 集 期 間：-

応募必要書類：-

選 考 方 法：-

選 考 時 期：-

< 参照 >

公立八鹿病院のウェブサイト：<https://www.hosp.yoka.hyogo.jp/>